

日本産業技術史学会 2020 年度第 3 回理事会議事録

日時：2021 年 3 月 29 日(月) 18:00～20:00

場所：Zoom によりオンライン開催

出席者：天野雅敏、市川浩、亀井修、鈴木淳、田中一郎、夏目賢一、廣田義人、麓和善、
馬淵浩一、武藤夕佳里

委任状：平野恭平

欠席：橋本毅彦、石村眞一

報告その他

1. 本会運営の状況(財務・会費納入状況等)について

廣田理事より、資料に基づいて、会費納入状況について説明があった。今年度は学会誌 1 号のみの出版により前年度より販売は減収だったが、選挙がない年である上、年総会が中止になり、理事会もメールとオンラインだったため、前年度より支出が減少し、最終的に 578,841 円の黒字となっている。

2. 本会運営の状況(会員の動向等)について

廣田理事より、会員の入会、退会の状況について説明があった。

3. 会誌(冊子版)の編集及び発行予定について

田中理事より、23 巻 1 号の発行報告と 23 巻 2 号の編集状況について説明があった。今年度は 1 号しか刊行できなかった。現在、投稿予定の情報はあるが、査読中の論文はない。書評の掲載についての提案が複数あった他、定期刊行のために積極的な投稿が呼びかけられた。

4. 会誌(電子版)の編集及び配信予定について

平野理事より、書面で、投稿数が少なく配信の予定がない旨の説明があった。その他、CiNii などで本学会の論文が検索されない問題がある。学会ウェブページの構成にも問題があることが指摘され、平野理事、濱田晋一(ホームページ担当)、田中理事の三者で今後の方針を協議することになった。協議する場合の旅費は学会から支出されることが確認された。

5. 第 34 回学会賞について

選考委員会で最終判断ができていない。受賞者には年会での講演を依頼することが通例であるため、選考を急ぐことが確認された。

6. 2021 年度(第 37 回)年総会について

実行委員長の鈴木副会長から、6 月の開催は困難な見通しであり、富岡製糸場とは 9 月 4 日あるいは 11 日の週末での開催も候補に調整している旨の報告があった。この件はこの理事会の審議事項となった。

7. その他

とくになし。

議事案件

1. 2021年度(第37回)年総会の開催について

会員の発表申し込みの都合があるため、開催の基本方針を早急に決定する必要がある。基本的に6月は中止とし、9月にオンラインを考慮しつつ、必ず開催することの合意を得た。最終的な実施方法については、実行委員会の鈴木副会長、亀井理事、さらに麓会長、廣田副会長の四者で近日中に結論を出すことになった。

なお、理事会では、9月11日(土)に現地でシンポジウムや見学会をおこないそれらを可能な限り中継するとともに、12日(日)に研究発表と総会をおこなう方向で議論が進められた。実行委員会の負担にならないように運営方針については柔軟かつ簡便に考え、運営マニュアルなどは他学会に参照させてもらえるよう依頼することになった。

2. その他

とくになし。